

令和6年度

事業計画書

社会福祉法人 黎明会

特別養護老人ホーム オーキッド

法人理念

地域と共に歩む誠実な介護

基本方針

誠実な対応を心がけ、一人ひとりの思いを大切にします
世代を超え誰もが安心して暮らせるまちづくりに貢献します
専門性を磨き、働きがいのある職場づくりを目指します
常に新たな介護ニーズに対応できるよう何事にも挑戦します

令和6年度 事業方針

法令を遵守しながら事業を推進し地域における介護の拠点を目指します。事業運営の安定と利用者への介護サービスの向上、新たな加算の取得に向けて、業務の改善や整備を行います

また、令和6年度は、業務の見直し、介護ロボットやICT機器の導入を検討し、「一人でも多くの利用者に質の高いケアを届ける」という介護現場の価値を重視することで「介護施設における生産性の向上」を目指し取り組みます。

施設経営計画

- ① 特養年間ベッド稼働率96%を目指します。
短期入所年間ベッド稼働率97%を目指します。
- ② 損益を適正に評価し安定した運営を行う。

部門目標

【事務】

- ① 事務処理の効率を上げる
 - ・ICTの導入に推進し事務処理の効率を上げ、正確かつ迅速に行えるようにします。
- ② 自己啓発・能力開発の実施
 - ・事務講習に積極的に参加し、新たな情報の収集・知識の取得、能力開発に努めます
- ③ 支出の削減
 - ・コスト管理を行い、支出の見直しを行い経費の削減に努め、無駄をなくし、施設の運営が円滑に行えるよう努力します

【特養相談員】

- ① 相談援助
 - ・入居者自身・ご家族等支援者の想いを尊重し、関係者が同じ目標・方向性をもってケアできるように、事業所内に留まらず各必要分野との連携を図ります
- ② 稼働率の向上
 - ・施設入居を希望されている多くの方に施設を利用していただけるよう、入居申込を随時募集し面談を早急に行い、空床期間の短縮・稼働率の向上を目指します
 - ・特養の空床がある場合は、より多くの方に施設を有効活用していただくためにショートステイでの空床利用を推進します

【特養介護】

- ① 暮らしの継続
 - ・その人らしく生きるということに重点を置き、施設に入居される前と変わらない生活ができるように、入居者一人一人に寄り添ったケアを行うことで安心して生活していただけるように支援します
 - ・可能な状況下であれば地域交流、ボランティアの受入れ、外出・外泊をしていただき、以前の生活を少しずつ取り戻していきます
- ② 誠実な介護の実現
 - ・至誠の心をもって介護にあたります

③ ICTなどを活用し生産性の向上

- ・ICTの導入により情報の伝達、周知、共有の迅速化を進めます
- ・ICTにより業務の負担軽減、効率化を図り、働きやすい環境を整えます

④ 感染対策

- ・コロナウイルスが5類に分類されたが他の感染症を含め脅威は不変であり、感染予防と対策は高次に行っていきます

⑤ 職員育成

- ・外部研修への積極的な参加と振り返りを行い、職員の質の向上を図ります
- ・e-ラーニングを活用、毎月開催し職員の自らが学び向上を目指します

【短期入所相談員】

① 相談援助

- ・各部署との連携を強化し利用者が過ごしやすい環境の提供に努めるとともにご家族や居宅のケアマネジャーと連携調整を通して信頼関係を築いていきます

② 稼働率の安定を図る

- ・毎月平均97%を目標に居宅介護支援事業所への営業活動を継続し、稼働率の安定を図ります
- ・適切に利用できる柔軟な受け入れの仕組みを整え、緊急な依頼や効率性の向上に努めていきます

【短期入所介護】

① 個別支援、サービスの向上

- ・利用者様やご家族様に安心してご利用いただくため、職員間での情報の共有、利用者様の心身の状況や置かれている環境などの適切な把握、多職種連携に努め、信頼関係の構築に繋がります

② 環境サービスの提供

- ・その人らしい暮らしとは何なのかを考え、利用者様の生活環境、ケア環境の整備に努めます

【医務】

① 体調の変化など病状の早期発見に努め嘱託医へ報告し、連携します

② 救急搬送、緊急受診が必要となった場合、ご家族へ容態報告などを行う

③ 近隣の感染症の流行に注意し予防に努めます

④ 嘱託医とご家族の橋渡しになるよう努めます

⑤ 看取りカンファレンスに参加し、尊厳ある最期を迎えられるように努めます

【栄養】

- ① 適切な食事が提供できるように、委託給食会社と連携し衛生管理に努めます
- ② 利用者の栄養状態を把握し、他職種と連携し適した食事が提供できるように努めます
- ③ 利用者やご家族、他職種の方に、有益な情報が提供できるようにします

【介護支援専門員】

- ① 計画作成
 - ・入居者、ご家族等支援者の想いに寄り添いながら、各部署と意見を重ね、豊かな施設生活を送るための施設計画書の作成に努めます
- ② 自己研鑽
 - ・情報の収集や知識の習得に努め、それを業務に還元することで、信頼のおける介護支援専門員を目指します

【会議・委員会】

入所者の多様なニーズや生命の保全を勘案し、下記の会議や委員会を行います。

会議・委員会	日時	目的
管理者会議	毎週	施設の運営会議を行う。幹部にて業務実績の報告や課題を討議する。苦情報告等。
全体会議	月1回	施設の運営に対して、各業務の見直しやサービス向上に向け話し合う。各部署間の連携を強化する。施設全体の教育・研修の立案と実施。
看取り委員会	月1回	施設内の看取りにおいて検討する。
労働安全衛生委員会	月1回	職員の労働環境などを検討する。
介護リーダー会議	月1回	介護業務における業務の見直しを協議する。介護職員向けの教育スケジュールを実施。
入所判定会議	月1回	入所の妥当性を明らかにするため、定期的に入所判定指針に基づき判定する。
事故防止委員会	月1回	事故・ヒヤリの検証虐待や身体拘束事案を検討。
給食委員会	月1回	委託業者とともに、給食の改善点を検討。
感染委員会 褥瘡予防委員会	月1回	入所者や職員に対して感染症等からの予防対策を考え、実施していく。
レク・行事委員会	月1回	日常生活において季節感と楽しみもっていただく行事の企画運営。

生産性向上委員会	月1回	業務におけるムリ・ムダを見つけ、効率の良い業務になるよう改善方法を検討していく
身体拘束廃止委員会	3ヶ月1回	定期的に入所者の身体拘束について話し合い、必要に応じて開催し、適時身体拘束について検討していく。
虐待防止委員会	3ヶ月1回	定期的にご利用者に対する虐待事例や不適切な介護の事例がないかを話し合い、必要に応じて臨時的に検討していく

【施設内研修計画】

月	テーマ	形式	テーマ	形式
4	感染症及び災害に係る業務継続計画のための研修	eラーニング	事業計画について外国人向け研修	机上
5	倫理及び法令遵守に関する研修	eラーニング		
6	身体拘束の排除・高齢者虐待防止に関する研修	eラーニング	BCP 訓練	机上
7	感染症・食中毒の予防及びまん延防止に関する研修	eラーニング		
8	非常時災害時の対応／防犯対策	eラーニング		
9	介護現場で気を付けたいプライバシー保護	eラーニング	火災、防災避難訓練	訓練
10	認知症及び認知症ケアの研修	eラーニング		
11	事故発生又は再発防止の研修	eラーニング		
12	接遇に関する研修	eラーニング		
1	ターミナルケアに関する研修	eラーニング	BCP 訓練	訓練
2	福祉現場の感染症対策	eラーニング		
3	高齢者虐待について「事例」	eラーニング	火災、防災避難訓練	訓練